

保育ステップジャンプ

Hoiku Step jump



発行者

千葉県民間保育振興会

代表者 茂呂 剛

HP <http://shinkokai.main.jp/>

事務局 〒272-0144

千葉県市川市新井 2-1-21 (新井保育園内)

TEL:047-357-3211 FAX:047-357-8936

MAIL: info@shinkokai.main.jp

お知らせ

各委員会 委員募集
研修のご案内
青年部募集

千葉県民間保育振興会 HP リニューアル



ホームページアドレス <http://shinkoukai.main.jp/>

千葉県民間保育振興会

検索

新たな時代を迎えるにあたり、皆様により細かな情報をリアルタイムに発信できる場となるよう、ホームページをリニューアルしました。



- ☆ **見やすいページ構成**・・・更新状況やお知らせなどを、見やすい位置に表示しています。
- ☆ **更新作業の効率化**・・・細かな更新がしやすくなり、リアルタイムな発信が可能となります。
- ☆ **各委員会活動報告のスムーズな公開**・・・研修報告をはじめとした振興会の活動報告を随時公開して参ります。
- ☆ **閲覧しやすい加盟園情報ページ**・・・地図からエリアが選べるようになりました。
- ☆ **わかりやすいお問い合わせページ**

編集後記

私の勤務する保育園がある市町村でも幼児教育保育無償化に伴う説明会がありました。副食費の価格設定など、悩みは尽きませんが、保護者への説明と同意、運営規程の修正、費用徴収方法決定など、すべきことが少し見えてきました。前向きにひとつずつ手を付けていこうと気持ちを新たにすると説明会でした。

今号から新たな広報委員で編集を行うことになりました。まだ慣れないため、見にくい部分も多々あるかと思いますが、委員の連携をもつて内容のある紙面づくりをしていきたいと考えております。新しいホームページもぜひご覧ください。

茂呂剛 新会長ご挨拶



会員各位におかれ

ましては、日頃より千葉県民間保育振興会の運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、千葉県民間保育振興会総会において令和元年度の

会長を拝命しました茂呂剛でございます。至らない点もあるかと思いますが会員の皆様のご協力を頂戴しながら、子どもたちの最善の利益のために精一杯、務めさせていただきますと思います。何卒よろしくお願いいたします。

さて、平成が三十一年をもって終了し、五月一日より令和を迎えました。令和が子どもたちにとって平和で、毎日安心して過ごせる時代となるよう願わずにはいられません。「子どもの最善の利益」のために保育環境を守ることができるのは私たち大人です。未来ある子どもたちが幸せに暮らすことができる環境をつくるために共に努力してまいりましょう。

千葉県民間保育振興会の令和元年度事業計画の基本方針に明記されているように、四つの柱を軸に千葉県全域の認可保育園等が抱える問題

点や悩みなどを把握し、解決を図っていききたいと考えております。

①研修の充実を図ります。当会独自の取り組みとして、次世代の園長を含めて、運営能力や経営者としての資質向上を目的とする研修。保育の「質」をテーマに、専門性を高め講義と実践を行き来し、対話による学びを積み重ねる連続講座を企画・実施。また、全国私立保育園連盟との人脈を基に、独自性の高いプロジェクト研修を年二回企画・実施します。

②今年度は特に各方面からの情報収集を行い、ホームページ等のSNSを活用し、広報誌「保育ステップジャンプ」の掲載、総会、理事会、研修会、保育情勢等のリアルタイムな情報発信と報告を積極的に行っていきたいと考えます。また、会員園への情報発信を強化すべく、会員園へ広報誌の発送を行う他、保育情勢等のリアルタイムな情報を定期的に会員へ配信し、将来を見据えた魅力ある活動と的確な情報伝達を展開していきます。

③保育士不足の問題に関しては、千葉県私立大・学短期大学協会など養成校との連携を強化推進に努めるとともに、引き続き情報交換会を企画し、養成校と認可保育園等の協働により、県内

認可保育園等への就職へ繋げるよう活動を計画しています。さらに、千葉県全域の認可保育園等が抱える保育士不足等の問題点や悩みなどの情報共有を行い、環境整備等においても県内各地域の現状を把握し千葉県への予算要望を行います。

④千葉県内全域にて、認可保育園等で働く保育士が様々な情報を共有し、互いに必要とする運営や人事管理に関するノウハウの提供を行う研修、保育士の為の情報交換の場作りとして第二十四回保育者の集いを開催します。更には、次世代の千葉県の保育界を担う若い人材が忌憚なく情報交換し、各々の意見交換の中から多様な価値観を見出せるように、青年部会の魅力を広め若手後継者の育成を積極的に行います。

保育をめぐる政策・社会情勢が大きな転換期を迎えます。中でも十月一日には最大の制度変革として「幼児教育・保育の無償化」が予定され、高まる保育ニーズへの対応が求められることとなります。このような大きな変革の中にあっても子どもたちが穏やかに過ごせるように「保育の質の向上」を目指していければと思います。これからも千葉県民間保育振興会に対し、なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。

高橋 克文 前会長ご挨拶



～令和元年度 総会にて～

こんにちは。本日は多くの皆様にご臨席賜りまして、ありがとうございます。改めて昨年度を振り返りますと、保育士の確保、保育士不足の解消をどのように進めていくべきなのか、一度現場から離れた方にどうすればもう一度保育士として働いていただけるのかと考え続けた一年だったように思います。そして千葉県民間保育振興会加盟園をいかに盛り上げることができているのか。当会がメッセンジャーとなるべく取り組んでまいりました。

また新しい時代の始まりに合わせ、刷新したホームページによるスピーディーな情報発信にも

チャレンジしています。保育無償化はまだ先が見えない状況ではありますが、実施に向けての情報発信など、振興会としての使命がまだまだあると思います。加えて地域によって保育に格差が生まれないよう、調査を基に運動展開していかなければならないと思っております。

皆様に審議いただきまして平成の時代の事業、決算から新しい時代の事業へ繋いでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第二部 演題「虐待の取材現場から学んだこと」
今、何が求められているか

講師 ルポライター 杉山 春 氏

杉山春氏は平成十二年から家族内の虐待と家族の在り方について取材をされて来たそうです。

「児童虐待は社会制度が追いつかない中で行われている事に気付いた。」この言葉で講演は始まりました。過去の虐待事例から、その変化についてお話がありました。虐待の変遷には日本の経済環境による要因が大きいと杉山氏。幼少期の圧倒的な孤立被害体験や、自身の価値が見出し辛い社会環境。見通しの持てない生活不安。親の育った環境要因は非常に大きいとも。貧困から虐待への進行という観点からみると、子どもの貧困は親の貧困であり、今までの社会構造として父親が稼ぎ母親が家事をするといった中で、現在の社会環境下ではシングルマザー一人での子育ては非常に

辛いものであるが、だからこそ女性が個人で生きる力をつけるための支援の必要性を実感しているとのこと。事件を追い続けた杉山氏の話はとても客観的でした。最後に保育園にお願いしたいこととして、『未来の大人に社会を信頼する事を学ばせてほしい。誇りを沢山持たせてあげて欲しい。親の為に信頼関係を結んで欲しい（まだ何も無いときにこそ）。「困った親」こそ、社会に繋いで欲しい。』このように締めくくられました。

私たちは、「〇〇であるべき」「ねばならない」という言葉をどれだけ使ってしまったているのでしょうか。その“あるべき”姿はなぜ発生するのでしょうか。今の社会は他者に求めるものが高くないでしょうか。他者へ求める事で知らずの内に自身を取り巻く環境を狭くしているように思えてなりません。それは、正論社会と言えるのではないのでしょうか。相手の置かれている状況、環境は考慮されず、正しいもの、より良いことがいい事とされている。それはほとんど熱量を帯びて暴走しているように感じます。相手を認めるとは、「こういう人もいるのだ」と多様な人の存在を認める事だと思えます。それは、一人ひとりを大切にするという事であるのではないのでしょうか。『不安を人と分け合う』この公演の中で印象に残った言葉でした。保育園の役割、在り方を再考することが虐待予防の始まりかもしれません。

(報告者…チューリップ保育園 藤井)